



学生のための
政策立案コンテスト
2018

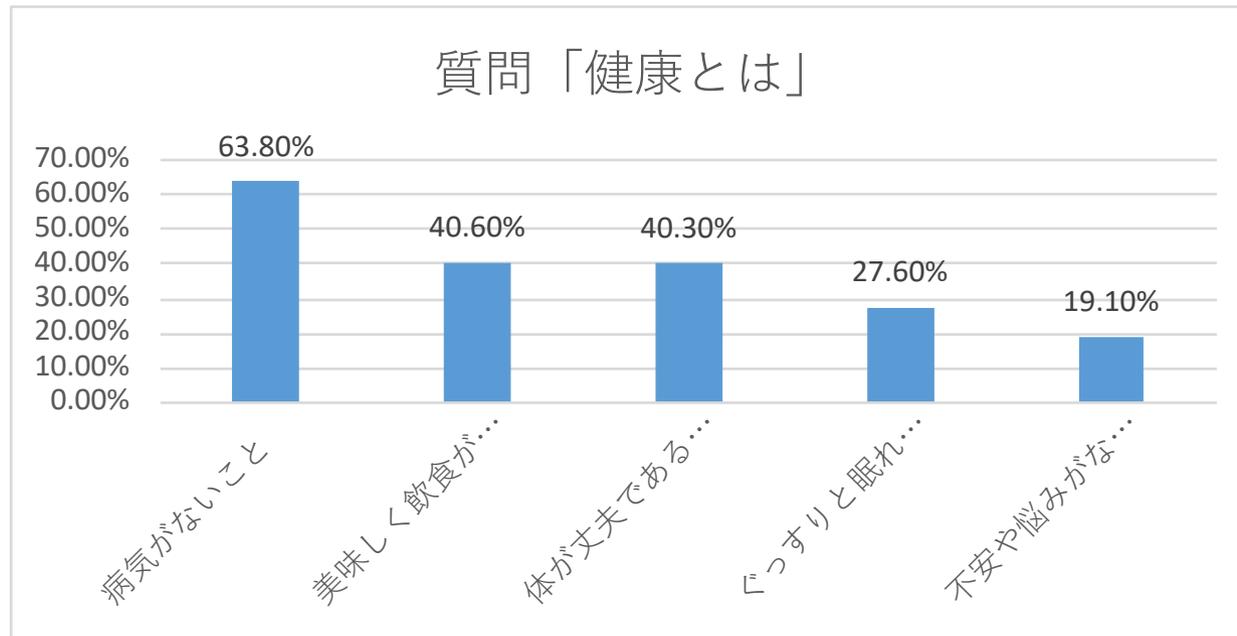
チームQ政策案

GEIL

理想状態

そもそも、“健康”とは？

厚生労働省の調査によると……



つまり、日常生活を害する病気にかからないこと！！

(厚生労働省 H26)

➔ **社会的要因によらず、日常生活を害する病の疾患率において格差のない社会**を目指す

現状分析

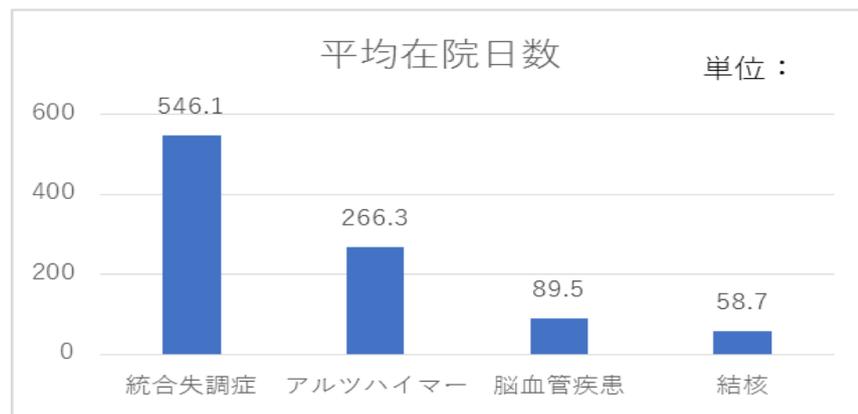
☆ 政府介入の意義

国家政府が政策を使って介入する前提として多くの人に影響が行き渡らなければならない。そのため、**患者数の多い病気**の中から特定する。

【患者数の多い病気】がん、統合失調症、脳血管疾患

☆ 日常を害する病気とは？

① 入院率 (厚生労働省 H26)



② 症状

がん

- 症状による痛み
- 治療等からステージによっては寝たきりに

統合失調症

- 約半数が精神的な影響により、日常生活を自立して送れない

脳血管疾患

- 手足のまひ
- 言語障害



政策案 1：アオハライダー

鉄道の“常識”を変える = 食事OK, 会話OKの立食スタイルの車両導入

☆実施要項

- 時間帯：朝始発～9：00（平均的な昼休憩12時の3時間前）
- 車両：真ん中の車両で乗りやすく席を廃止し、丸テーブルを設置（安全面、人の流れ）
- 防犯カメラの設置：安全面、データ取得（利用人数・利用頻度）
- 試食品の提供：企業とタイアップして試食品を提供（成人男女で不足している栄養素を補えるもの：フルーツ、野菜、野菜ジュース、ナッツ など）

☆アオハライダーの由来

- 「青春18切符」のように特定の層に響く名前
- 20代男女は、青春時代に戻れない哀愁を感じている

☆20代の趣向に合う車内

- 人気のある音楽を流す
- 化粧品やファッションのCM
- Youtube などとのタイアップ

政策案2：ICT自販機

☆実施要項

- ちょっとヘルシーな朝ごはんを安価で提供
Ex. 野菜が具材のサンドイッチ、十五穀米等のおにぎり
- 交通ICカードにポイントがたまる
- ICTを利用した健康的な食品・食べ合わせの推奨
 - ▶ 年代別に広告を変化させる（メニューの位置、文言）
 - ▶ ICカードからの利用履歴をもとにメニューを提案

☆効果測定

- ▶ 搭載カメラで性別・年齢・体重・身長を測定
 - ▶ アンケート調査
 - ICT自販機の液晶上でのアンケート
 - 街頭アンケート(主観的健康度、朝食摂取の有無)
 - WEB上アンケート(健康診断との紐づけを依頼)
- ⇒主観的・客観的健康度、朝食摂取率の増減がわかる

JRでは飲料自販機としてすでに実用化！！



中長期的視点

～PDCAサイクル～

路線：湘南新宿ライン
… JR、若い世代の居住地域を通る、働き世代の利用率が高い、混雑率が低い

初期導入
段階

効果測定

- ・ 混雑対策の有効性
- ・ 朝食の摂取×肥満解消の成果
- ・ 試食の摂取度合いと健康への影響
- ・ 会話行動

他路線での普及

普及

改善

- ・ 混雑防止（入場制限・車内の工夫）
- ・ 自販機表示
- ・ 思わず試食を食べてしまう仕組み
- ・ 試食品の検討
- ・ 会話の促進

今後の展望…
健康ロールモデルとして産業化→海外展開

効果

朝食を食べる

コミュニティ作り

栄養バランスの改善

肥満解消

健康格差の是正